

## レジメンスケジュール

診療科	泌尿器科
適応	小細胞肺癌
レジメン	肺AMR療法

申請・改訂日	2008年4月
備考	

クール関連
1クール3~4週毎

使用した臨床データ
がん化学療法レジメンハンドブック

全クール																				
投与順	抗がん剤	薬品名	投与量	投与方法	時間・速度	備考	day1	day2	day3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	day21-28	
①		グラニセロン注	3mg	メイン	30分		○	○	○										終了	
		デキサメタゾン注	9.9mg				○	○	○											
		生理食塩液	100mL				○	○	○											
②	○	アムルピシン	35mg/m2	メイン	全開		○	○	○											
		生理食塩液	50mL																	
③		生理食塩液	50mL	メイン	全開		○	○	○											
④		デキサメタゾン	8mg	内服		オプション					○	○								

## 投与開始基準

アムルシビン	
項目	程度
初回投与時	白血球数4000/mm <sup>3</sup> 以上12000/mm <sup>3</sup> 以下、血小板数100000/mm <sup>3</sup> 以上、ヘモグロビン値10g/dL以上
2回目以降	白血球数3000/mm <sup>3</sup> 以上、血小板数100000/mm <sup>3</sup> 以上

## 減量・中止基準

アムルシビン		
副作用	程度	対処法
白血球減少	1000/mm <sup>3</sup> 未満が4日以上持続した場合	次コースの投与量を前コースよりも5mg/m <sup>2</sup> /日減量する。
血小板減少	50000/mm <sup>3</sup> 未満の場合	次コースの投与量を前コースよりも5mg/m <sup>2</sup> /日減量する。
心筋障害	異常が認められた場合	休薬または中止すること。心機能に対する観察を十分に行うこと。他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療歴がある患者については十分注意すること。 代表的なアントラサイクリン系抗がん剤の限界量は以下の通り。 ダウノルビシン: 総投与量25mg/kg ドキソルビシン: 総投与量: 500mg/m <sup>2</sup> エピルビシン: 総投与量: 900mg/m <sup>2</sup> ピラルビシン: 総投与量: 950mg/m <sup>2</sup>